

「目黒区エコ・チャレンジ顕彰」の被顕彰者に選定いただきました

東急電鉄株式会社

2月18日、「目黒区エコ・チャレンジ顕彰」の顕彰式が開催され、当社の「日本初、鉄軌道全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%にて運行」の取り組みに対して感謝状が贈呈されました。贈呈式では当社取締役常務執行役員鉄道事業本部長 伊藤 篤志に目黒区青木英二区長から感謝状が贈呈されました。

今回の感謝状の贈呈は、東急線全路線での運行にかかる電力を再生可能エネルギー由来の電力100%（別紙参照）にすることで、区内の脱炭素化に大きく貢献していることを評価いただきました。

当社は、目黒区内に路線を持つ鉄道会社として、脱炭素・循環型社会実現に向け、日本初の取り組みとして2022年4月より全路線での運行にかかる電力を、トラッキング付非化石証書を活用して再生可能エネルギー由来の実質CO2 排出ゼロの電力への置き換えを開始し、これにより年間約165,000t-CO2 を削減できるところが評価されました。

今後も、環境に優れた交通手段として鉄道を選んで頂けるような利用促進策を検討・実施することで、多くの方に東急線をご利用いただき、脱炭素社会に貢献してまいります。

以上



左:当社取締役常務執行役員  
鉄道事業本部長 伊藤 篤志  
右:目黒区長 青木 英二  
(敬称略)



青木区長(手前中央)と  
選定された事業者・団体の代表者・関係者  
(手前左が当社取締役常務執行役員  
鉄道事業本部長 伊藤 篤志)

【別紙】

1. 目黒区エコ・チャレンジ顕彰式(概要)

- (1)日時:2023年2月18日(土) 午前10時
- (2)場所:目黒区総合庁舎4階 特別会議室
- (3)被顕彰団体(50音順・敬称略)

団体名	参加代表者	取組内容
東急電鉄株式会社	取締役常務執行役員鉄道事業本部長 伊藤 篤志	全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%での運行による目黒区内の脱炭素化に貢献
中目黒村美化委員会	代表 道城 征央	定期的に近隣住民、企業、飲食店の方々と目黒川沿いの清掃活動を行っており、区内の環境美化への貢献

2. 鉄軌道全路線の再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力での運行概要

(1)鉄軌道全路線の概要

- ・営業キロ 104.9km(鉄道7路線、軌道1路線)  
(鉄道)東横線・目黒線・田園都市線・大井町線・池上線・東急多摩川線・こどもの国線  
(軌道)世田谷線
- ・輸送人員 805,783千人(2020年度実績)
- ・年間使用電力量 約3億5千万kWh(2022年度計画)

(2)再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力とする手法

「電気事業者による再生可能エネルギーの調達に関する特別措置法」第2条第5項に定める特定契約の対象となる発電所についての追加的な属性情報が付与されたトラッキング付き非化石証書(=FIT非化石証書)および発電所についての追加的な属性情報が付与された再エネ指定の非FIT非化石証書を活用した電力を購入することで実施します。

※非化石証書 太陽光発電や風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電など非化石電源により発電された電力の環境価値を取り出した証書

(3)再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力に置き換える範囲

- ・鉄道7路線の運行、全駅等で使用する電力  
(鉄道)約3億4,900万kWh
- ・世田谷線の運行で使用する電力  
(軌道)約200万kWh

(4)再生可能エネルギー由来の実質CO2排出ゼロの電力への置き換えによる年間CO2排出削減量

- ・約165,000t-CO2(見込み)  
一般家庭の年間CO2排出量約56,000世帯(1世帯あたり2.91t-CO2で算出)  
東京ドーム約66個分(1t-CO2≒500m<sup>3</sup>として計算、東京ドームの容積は約1,240,000m<sup>3</sup>)

以 上